

敬老月間ふるさと芸能大会のお知らせ

敬老月間「ふるさと芸能大会」を芸能協会が活動されている方々や、劇団「新屋一座」の協力を得て開催します。みんなであれあい、楽しく一日を過ごしませんか。

開催期間／8月27日(金)～9月3日(金)

※8月30日(月)を除く

開催時間／10:30～14:40

開催場所／健康福祉会館大ホール

内容／午前 いきいきミニ健康づくり
芸能協会による芸能発表

午後 劇団「新屋一座」による時代劇

対象者／市内に住む、おおむね
60歳以上の方



■健康福祉会館の風呂の無料開放のお知らせ

期間／8月27日(金)～9月30日(木)

10:00～18:30 ※月曜・祝日を除く

対象者／市内に住む65歳以上の方

問合先／会館管理事務所 ☎④ 6700

■バザーのお知らせ

場所／健康福祉会館大ホール前ホワイエ

品物／日用品・タオル類・食器類・衣類など(食料品以外)

期間／8月27日(金)～9月3日(金)

9:30～12:00 ※8月30日(月)を除く

主催／加西市老人クラブ連合会 ☎④ 5670

【問合先】 長寿介護課 ☎④8728、加西市老人クラブ連合会 ☎④8728

家族介護教室「家族で知ろう認知症」

介護をしていく上で役に立つ情報の習得や、介護されている方が心身共に健康でいられるための情報提供の場として、次の通り「家族介護教室」を開催します。介護者同士の交流の機会として、是非ご参加ください。

場所・定員／健康福祉会館2階創作室、30名※参加費無料

日時・内容／13:30～15:00

9月30日(木)「認知症介護のポイント」(講師) 加東健康福祉事務所保健師

10月27日(水)「救急ミニ講座」(講師) 加西市消防本部救急指導課

11月26日(金)「食事バランスのコマは回っていますか?」(講師) 加西市国保健康課管理栄養士

12月20日(月)「かんたん楽々 介助ポイント」(講師) 加西白寿苑リハビリテーション課

※申し込みは3日前まで。空きがあれば、当日参加も可能。各教室1回のみ参加も可能です。



【申込先】 加西白寿苑 ☎④9800

戦没者等のご遺族の皆様へ。第9回特別弔慰金が支給されます

公務扶助料や遺族年金等を受けていた方が、平成17年4月1日から平成21年3月31日の間に亡くなるなどし、平成21年4月1日で公務扶助料や遺族年金等の受給権者がいない場合、次の順番の先順位のご遺族お一人が対象となります。

1. 平成21年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

2. 戦没者等の子

3. 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

戦没者等と生計関係を有していた方のうち、平成21年4月1日において婚姻していたとしても氏が変わっていない方又は同日において遺族以外の方と養子縁組をしていない方に限ります。

4. 上記3以外の戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

※戦没者等と生計関係を有していない方や戦没者等と生計関係を有していたが上記3に該当しない方

5. 上記1・2以外の戦没者等の三親等内の親族

※戦没者の死亡まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

支給内容／額面24万円、6年償還の記名国債

請求期間／平成21年4月1日から平成24年4月2日まで。請求期間を過ぎると時効により権利が消滅し特別弔慰金を受けることができなくなりますので請求もれのないよう十分ご注意ください。

【問合先】 社会福祉課管理担当 ☎④8724 FAX④1801 fukushi@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『病院経営評価委員会』

■公開第3回加西病院経営評価委員会

7月15日に第3回加西病院経営評価委員会が公開で開催されました。「病院経営評価委員会」とは、総務省が平成20年度から自治体病院に課している公立病院改革プランに沿った経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しが計画通り進んでいるか検証し公表するための仕組みです。

加西病院の委員は、神戸医療経営学研究会を主催されている明石純先生を委員長に、加西市医師会長の小野寺芳伸先生、明石市まついクリニック院長の松井豊先生、三菱電機姫路製作所統括の植田浩司氏、松下政経塾生で医師の高橋宏和先生など多士済々のメンバーです。今回の委員会では、平成21年度の病院決算と改革の進捗状況が検証されました。

■委員会での議論

経営面の評価では、プランの目標である現金ベースの黒字化が予定よりも1年早く達成となり、委員長から「全国の自治体病院が経営悪化で苦しんでいる中、よく踏ん張っている。」との評価をいただきました。

また医療の質の面につきましても、医師や看護師など各地で不足が伝えられる医療職が増加し、地域の医療機関からの紹介患者が増え、院内では医療安全管理などチーム医療が充実し、市民に開かれた病院活動が盛んであるなど概ね高い評価を頂きました。

一方、「加西病院は拡大路線を歩んでいるが、医療職が集まらなかったり患者が減るなど経営不振となった時の対応はどうか。」との質問や、「急性期医療を進めるには、退院患者を受け入れる施設が市内に不足しているのではないか。」との指摘がなされました。

■不安な状況

上記の質問の背景には本院を囲む環境として、西脇市

民病院や県立加古川病院の新築オープン、小野三木病院統合の進捗、加古川市民病院と神鋼加古川病院の経営統合と病院新設プランといった、競合する周辺病院の充実があります。また本院がDPC(詳細は6月号同コーナー掲載)で誘導される急性期医療を続けるには、急性期を終えた回復期や慢性期の患者を受け入れる地域医療介護体制が加西市では脆弱であるといった事情があります。

そのような状況の厳しさは病院事業管理者として強く意識するところです。建物が古く大都市圏からも遠い加西病院は、本院で働く職員自身が病院を「良し」と実感する以外に、新築の他院と競争して医師獲得・医療職獲得・患者獲得に勝てる見込みはありません。

■加西病院の今後

その病院の良し悪しを決めるのは病院職員自身のみならず、市民、行政、議会、患者、医療機関など地域の全てです。挙げて加西病院を守り、職員が遣り甲斐を持って医療でき、患者と市民に頼られる病院を作る以外、加西病院が生き延びる途はありません。

人員と教育と施設と機器に資金を投入し、職員自身が満足する質の高い医療を達成して、初めて加西病院が医療者に選択され、市民にとって価値のある病院となることができます。そのためには病院への資金投入と支援が不可欠です。「自治体病院が潰れるなんて想像もしません」と手を拱くなら、周辺新築病院との人材獲得競争に敗れて衰頹するだけです。

これら評価委員会の議論は加西病院ホームページを通じて公表します。どうぞ目を通してください。公表は速記録の校正を経てからです。もう少し先になります。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

AED(自動体外式除細動器)をお貸しします

兵庫みらい農業協同組合から市に寄贈されたAED5台の内、2台の貸し出しを加西市消防本部で開始しました。

市民が参加するイベント等にAEDを貸し出し、市民・民間団体・企業にAEDの意義、効果、必要性について理解を深めてもらい、参加者が突然心肺停止状態に陥った場合、救命活動を迅速に行えるようにし、救命率向上を図ることが目的です。

詳細は下記までお問い合わせください。

貸し出し用AED



【問合先】 消防本部 ☎④0119 FAX④3435 kyukyu@city.kasai.lg.jp